

「臨時議会が開かれていないのは東葛6市で流山だけ」議会事務局答弁

新型コロナ克服へ 議会の役割発揮を



日本共産党 流山市議会議員

小田 桐たかし

新型コロナ対策の前進へ、
あなたの力をお貸しくください。

市内陽性者は、月単位の推移で、4・5月2名ずつが、7月20名と10倍化し、人口1万人に当たりの罹患率は、柏市を抜き、松戸市や船橋に匹敵する増加率です。一方、本市の医療提供体制（市独自検査センター「なし」、感染病床「なし」、軽症者受入施設「なし」、自宅待機者支援体制「なし」）は県内近隣10市で最も遅れています。

日本共産党市議団は、随時、市議団HPを更新し、情報の発信・共有をしています。ぜひ、ご意見をお寄せください。

市議会では、7月20日会派代表者会議をへて、急きよ設定された議運（海老原委員長（自民）、近藤副委員長（流政会））。

新型「コロナウイルス感染症」の状況を踏まえた議会活動について協議した結果、青野議長（流政会）へ「視察実施も含め委員会活動（常任委員会及び特別委員会）の充実を求める」事で申入れをすることが全会一致で了承されました。

「委員会でも会派でも、視察見送り」に固執する議長に対し、異なる意見が全会一致（議長と同一会派となる委員も含め）で確認されたのは市議会史上、初めてのことで

また、小田桐市議の質疑では、①臨時議会が開催されていない議会は東葛6市で流山市だけであること、②臨時議会招集権を持つ市長からは打診もないこと、③議員が臨時議会招集するために必要な7名の議員中、共産党市議団4名に加え、あと3名いれば臨時議会が開催できることがわかりました。

市民から、臨時議会の開催等を求める申し入れが議会各会派に行われています。日本共産党も、適正な議会運営を、今後も求め奮闘する決意です。

ぜひ、一緒に、声を広げてください。

議会運営委員会

「視察も含め委員会活動の充実」を議長へ提言

8月5日、急きよ、議会運営員会が臨時開催されました。

主な議題は、①委員会等の活動について、②「市新型コロナ対策」について。

条例」における議会の責務について。党市議団から小田桐市議が出席し、議会の役割発揮を求めました。